
愛媛県内における災害ボランティア活動の現状と見通し

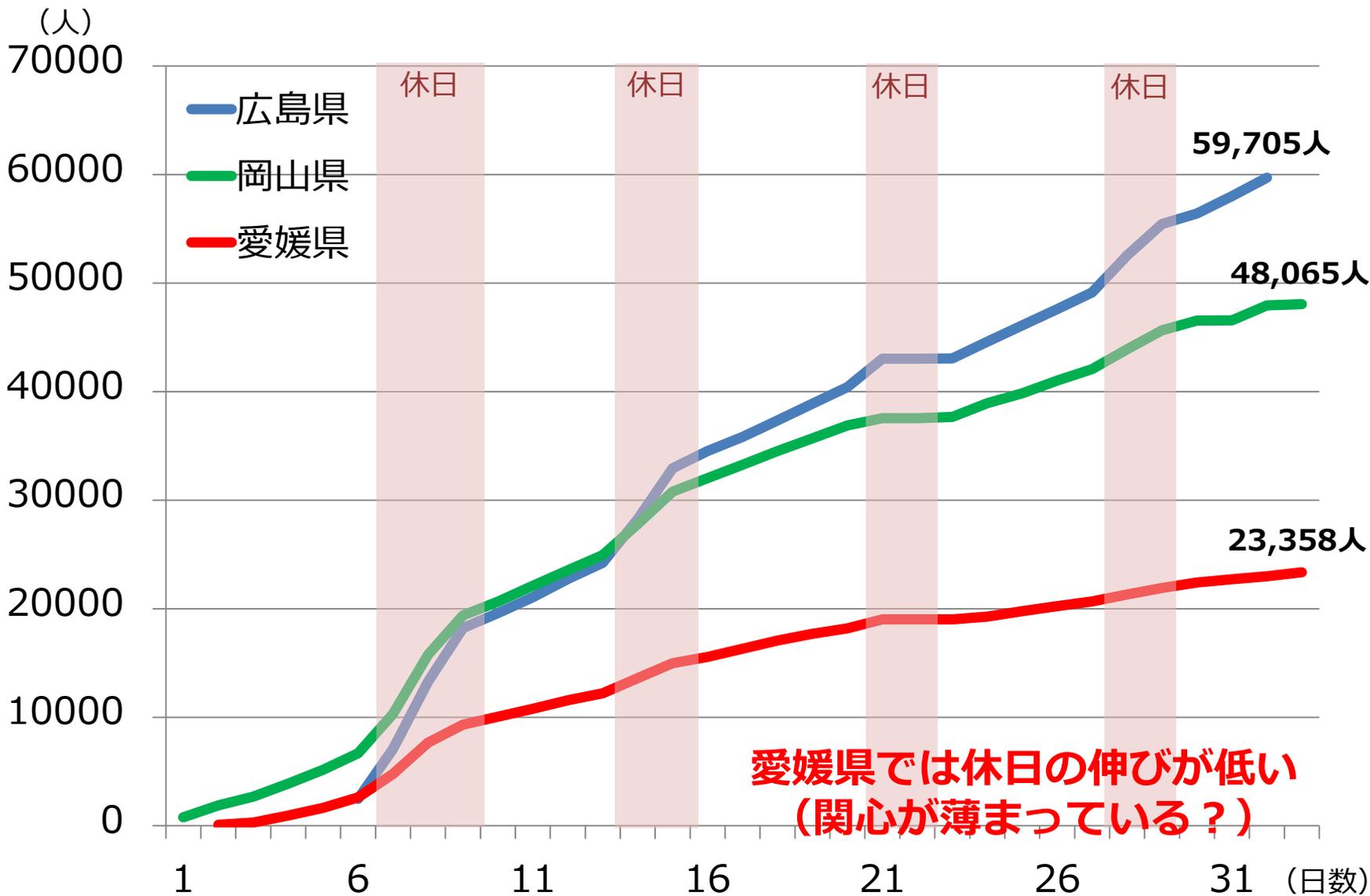
渡 邊 敬 逸
社会共創学部
環境デザイン学科

7月豪雨各県住家被害状況

被害区分	広島県	岡山県	愛媛県	3県計
全壊	728	4,146	635	5,655
半壊	2,296	2,763	2,846	7,905
一部損壊	2,053	1,986	588	4,627
床上浸水	2,689	2,532	913	8,750
床下浸水	4,081	5,189	2,048	11,318
計	14,609※	16,616	7,030	38,255

※：三原市の住家被害は各被害区分に含まれていない（広島県災害対策本部 2018. 平成30年7月豪雨災害による被害等について（第59報）・岡山県災害対策本部 2018. 平成30年7月豪雨による被害等について（8月9日14時00分現在）・愛媛県災害対策本部 2018. 平成30年7月豪雨による被害状況等について（第73報）

各県災害ボランティア数の推移 (各県社協HPより)



現在のボランティア数をどう理解するか①

- **平成29年7月九州北部豪雨**（福岡県・大分県計）
 - 住家被害：3,083棟
 - ボランティア数：約63,700人
 - **棟あたりボランティア数：約20人**
- **平成27年9月関東・東北豪雨**（茨城県のみ）
 - 住家被害：9,706棟
 - ボランティア数：約40,000人
 - **棟あたりボランティア数：約4人**
- **平成26年8月豪雨による広島市の土砂災害**
 - 住家被害：4,749棟
 - ボランティア数：約44,000人
 - **棟あたりボランティア数：約10人**

現在のボランティア数をどう理解するか②

● 平均で考えると…

- 被害数： $3,130 + 12,084 + 4,459 = 19,673$ 棟
- ボラ数： $63,700 + 40,000 + 43,000 = 146,700$ 人
- **棟あたり：約7～8人**

	広島県	岡山県	愛媛県
ボランティア数	59,705	48,065	23,358
住家被害棟数	14,609	16,616	7,030
ボランティア数/棟	約4人	約3人	約3人

- **これまでの水害に照らして、各県ともボランティア数は相対的に少なく、まだまだボランティアの支援が必要**

愛媛県における災害ボランティアの今後の動向

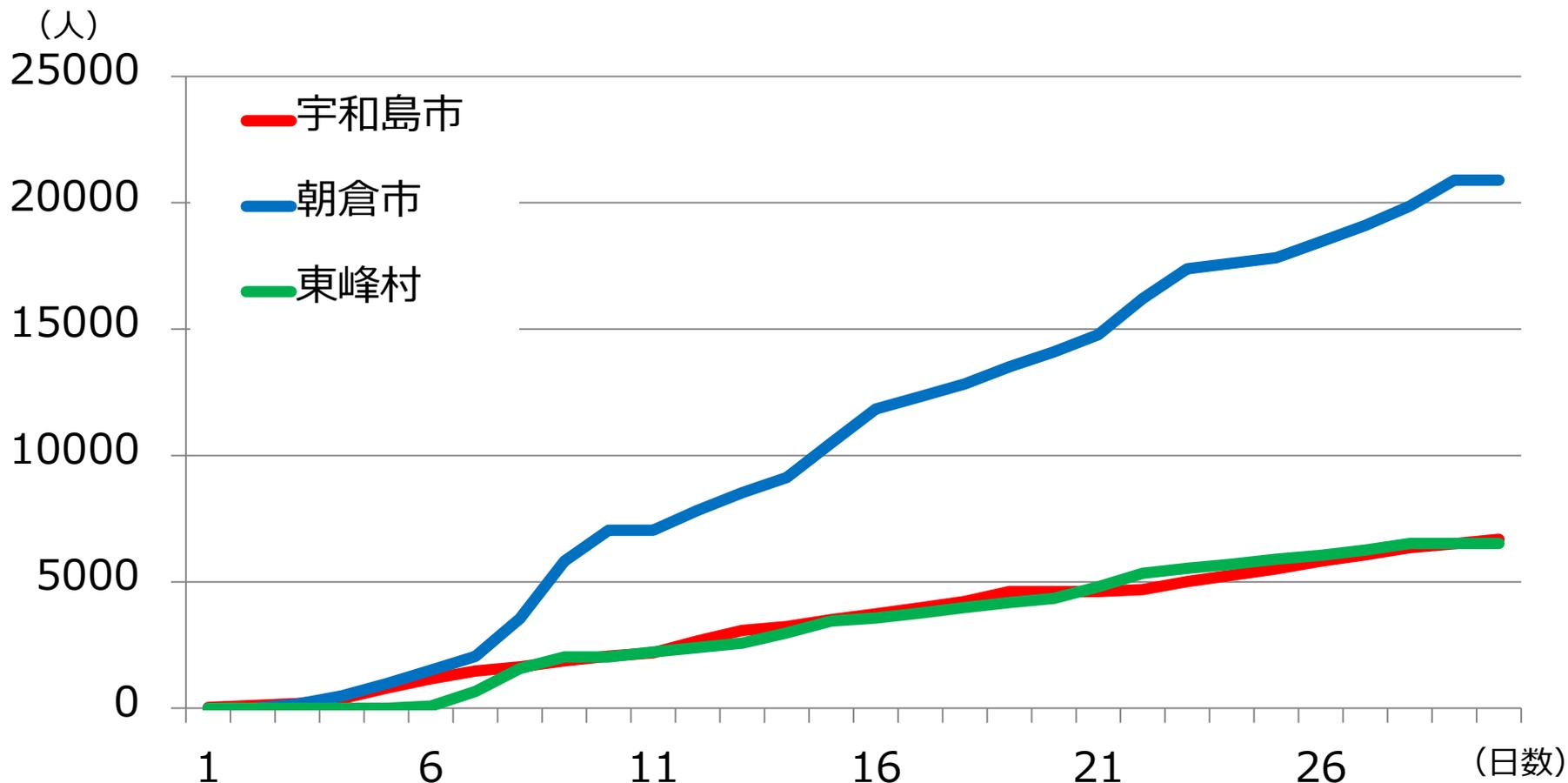
- 広島県・岡山県とともに、いまだ災害ボランティアが必要とされる中で、県外ボランティアのアクセスや県内人口において相対的に不利な条件にある愛媛県では、**今後、ボランティア数の推移が劇的に変化（増加）することはない**と予見される。
- 一方、愛媛県における被災地は人口減少と過疎高齢化の進む地域であることから、**平均以上のボランティア数が必要である**と考えられる。
- 今後の支援のあり方としては、**県内ボランティアを中心とする、細く・長く・濃い支援が必要**になると考えられる。

平成29年7月九州北部豪雨 (福岡県) との比較

発災日：2017年7月5日未明 VC開設：同7月8日～

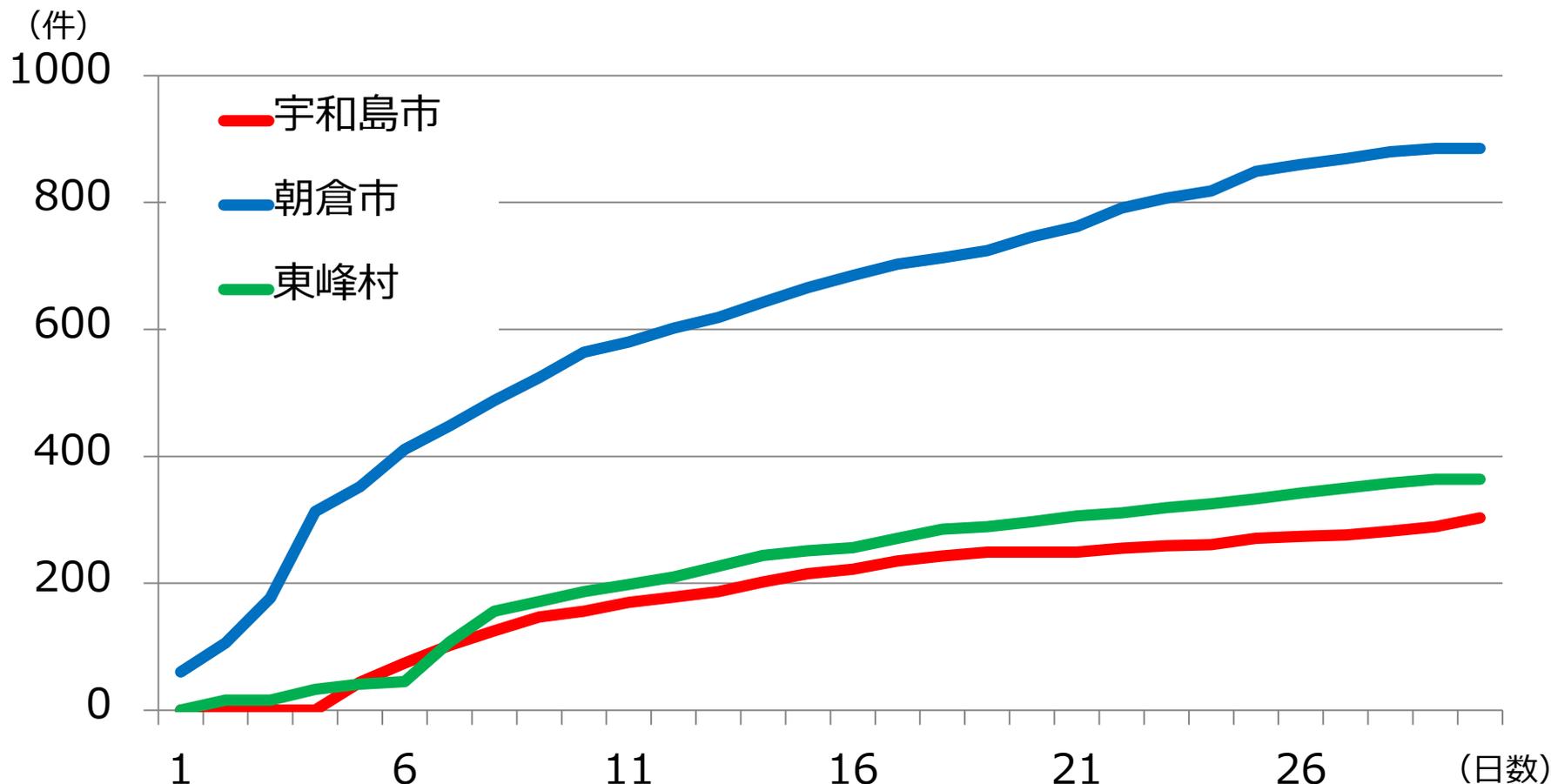
	朝倉市	東峰村	添田町	大洲市	西予市	宇和島市
全壊	260	26	1	417	127	47
半壊	782	37	1	1647	290	661
一部損壊	—	8	—	197	—	333
床上浸水	—	12	—	218	28	545
床下浸水	427	74	23	801	242	131
計	1,469	157	25	3,280	687	1,717
VC閉鎖時 ボラ累計	45,292 (10月末)	8,238 (8月末)	829 (8月上)	6,627 (9日現在)	6,621 (9日現在)	6,839 (9日現在)

災害ボランティア人数の推移 (発災後30日)



- 九州北部豪雨は今般の災害のように広域災害ではなく、支援の手が分散しなかった。また、中心的な被災地が福岡市を始めとする都市部を後背地とするため、被害状況に比して多くの災害ボランティアが集まった。

災害ボランティア依頼件数の推移 (発災後30日)



- 宇和島市の住家被害総数は朝倉市と同程度だが、発災1ヶ月後の災害ボランティア依頼（ニーズ）累計件数は3倍弱の開きがあるだけでなく、住家被害総数が1/10程度の東峰村よりも少ない。ニーズの収集方法の違い？ 運営方法の違い？ 住民が依頼しない？

愛媛県における災害ボランティア活動の課題

- 被災状況に比して、**災害ボランティア人数が少ない**
 - 広域災害で支援の手が分散しているため、**長期的な視野での支援活動**が必要となる
- 被災状況に比して、**災害ボランティア依頼件数が少ない**
 - 支援側がニーズを把握しきれていない？
 - 住民側が依頼をしてこない？
- **小規模自治体は大丈夫？**
 - 発災1ヶ月後の東峰村で累計400弱の依頼があったことを考えると、すでにVCを閉じている県内の小規模自治体（松野町・鬼北町）には、**もっと多くのニーズがあった／あるのでは？**